

大分の青少年



令和2年度 中学生高校生地域リーダー育成研修

2月14日（日）に「中学生・高校生地域リーダー育成研修」を佐伯市で開催しました。本研修は、中学生・高校生の社会参画促進に向け、課題解決力やコミュニケーション力など、地域のリーダーとして活動するために必要なスキルの習得を目的に、大分県青少年育成県民会議が主催したものです。

当日は県内の中学校5校、高等学校6校から25名が参加し、日本文理大学人間力育成センター長の高見大介氏による講義の後、フィールドワークとして5グループに分かれて佐伯市船頭町のまちづくりイベント「船頭マチイチ」へと繰り出しました。

「船頭マチイチ」は、地元の青年がまちづくりのために佐伯市内の出店者に呼びかけて、商店街で行う街歩きイベントです。参加した中高生は、まちなかの様子を観察したり、イベント主催者や出店者に質問したりして、船頭町のまちづくりについて調査しました。午後は班ごとに調査内容について意見交換を行った後、取りまとめた内容を発表しました。

参加者からは、「マチイチの参加者がみんな生き生きとしていて、まちの活性化だけでなく人も活性化されていると感じた。」「学校の授業では学べないことを学べた。」「活気を取り戻したまちの人々の考えに直にふれ、自分も将来まちづくりに関わりたいと思った。」などの感想が聞かれ、充実した研修となりました。

今回の研修成果を参加者が暮らすまちへと自らフィードバックするなど、地域を担う人材へと成長してくれることを期待しています。



青少年のスマホ・インターネットの利用

令和3年「春のあんしんネット・新学期一斉行動」

近年、インターネット利用が低年齢化しており、SNS等の不適切な利用によって青少年が被害者や加害者となるなど、トラブルに巻き込まれる事例が多く見られます。

県では、青少年が初めてスマートフォン等を手にする、卒業・進学はこの時期に、安心安全にインターネットを利用できる環境づくりに重点的に取り組んでいます。保護者の方は、子ども達がトラブルを避けて上手に使いこなすスキルを身につけられるよう、親子で話し合っ家庭のインターネット利用のルールをつくりましょう！

また、フィルタリングをはじめとしたペアレンタルコントロールを活用して、子どものスマホ利用の時間や利用環境を整えましょう！

詳しくは、県HP等をご覧ください。



青少年のネット利用実態調査結果



県では、令和2年10月に、県内在住の小学生から高校生まで約1,500名とその保護者、計約3,000名を対象に、ネット利用実態調査を行いました。

この調査は、平成28年から実施しており、今年度の調査結果から、インターネット利用の低年齢化が顕著になっていることや、利用時間の長時間化などが明らかになり、SNS等を介して自撮り被害に遭っている児童生徒もいることがわかりました。

特筆すべき事として、昨年度と比較して、ネットの使い方について「家庭のルールがある」と回答した割合が低くなっていることがあげられます。

青少年をネットトラブルから守り、ネットを効果的に活用するため、保護者の方は、ペアレンタルコントロールを是非活用しましょう！

また、親子で話し合い、児童生徒の発達段階に応じたインターネット・スマホ利用についての「家庭のルール」を作り、家族みんなで守りましょう！

調査結果の詳細は、県HPをご確認ください。（3月下旬公表予定）



県民会議 Facebook のフォロー 募集

大分県青少年育成県民会議では、昨年度にFacebookを立ち上げ、青少年健全育成に関する話題や情報を提供しています。今年度も、青少年団体の様々な活動内容等を紹介をさせていただきます。

現在、県民会議Facebookのフォローを募集しています。フォローをすると、最新の投稿が流れてくるようになります。フォローの仕方は下に記載しています。県民会議Facebookは右側のQRコードもしくは、「大分県青少年県民会議」で検索ください。

県民会議会員団体の青少年育成活動を紹介させていただきますので、積極的な情報提供をお待ちしています。



①ここをクリック

②ここをクリック



県民会議加盟団体の活動

青少年育成事業

大分県青少年育成県民会議では、加盟団体、またはその支部や下部団体が実施する青少年育成につながる活動に対して、その経費の一部を負担しています。

今年度応募いただいた加盟団体の活動を紹介します。来年度も積極的な応募をお待ちしています。

大分県保護司会連合会 問い合わせ先 097-537-7393

大分県保護師会連合会は、大分県内12保護区保護司会で構成されています。県内各市町村において活動する保護司をサポートし、まとめる団体です。保護司は法務大臣から委嘱され、罪を犯した方々を見守りながら更生を助けるなど、地域に犯罪がおこらないような活動を展開しています。

各保護区保護司会では、活動を通じて地域の防犯と再犯防止に努めていますが、豊後大野保護区保護司会は、青少年育成の活動に力を入れています。

本年度は、新型コロナウイルスの感染に注意しながら、出前座禅教室と炭焼き体験教室を実施しました。座禅教室では、風船を使って腹式呼吸の要領を体験し、その後15分座りました。終了後1人の児童が「今日学校で嫌なことがあったけど、参加してすっきりした」と話していたそうです。

また、炭焼き体験では資料で学習をした後、炭焼き釜から完成した炭を取り出す体験をし、その炭で焼き芋を楽しみました。子どもたちの笑顔が活動の源となっているようです。



座禅体験教室



炭焼き体験教室

大分県子ども劇場連絡会 問い合わせ先 097-546-3009

大分県子ども劇場連絡会は、県内にある5つの子ども劇場・親と子の劇場の連絡・交流組織として、1985年に創立しました。

子ども劇場は、全国の子どものための舞台芸術創造団体と提携し、プロが演じる生の舞台（お芝居や人形劇・コンサート・芸能など）を親子で鑑賞する「鑑賞例会活動」と、自分たちの手でやりたいことを計画しあそびやキャンプなど様々な催しを実現していく「自主活動」を2本の柱に、子どもも大人も共に育ちあおうと活動している、会員制の団体です。現在、大分市・別府市・中津市・日田市・佐伯市の5ヶ所で創意あふれる活動を繰り広げており、2020年度は日田市での「チカパンの大道芸」をはじめ、県内で15作品の舞台を上演し、約750名の会員が参加しました。

大分県子ども劇場連絡会では、これらの子ども劇場が活動を続けていくために連絡を取り合い、交流や学習を行っています。今年度は、昨年12月に「ワニブタと学ぼう！子どもの権利条約」を開催し、中学生から大人までが一緒に講演を聴き、その後、年代別に交流し、「子どもの権利」について考え合いました。

今後子どもが育つ環境が豊かな文化にあふれ、心豊かに成長できる場となるように、県内の子ども劇場と共に取組を進めたいと思います。



チカパンの大道芸



子どもキャンプ

県民会議会員団体・賛助会員募集

大分県青少年育成県民会議は県内市町村民会議をはじめ企業、団体等の109団体で構成されています。

県内の青少年が地域や社会の一員として主体的に未来を切り拓いていく資質を身につけ、自立できるよう、「活動の活性化とSNS等を活用した普及啓発」、「青少年健全育成の推進」、「体験活動の推進」の3つを重点項目に掲げ、家庭・地域・学校が一体となった青少年健全育成県民運動の一層の推進を目指しています。現在、社会の急速な変化の中で、青少年の非行や被害だけでなく、ニート、ひきこもり、インターネットによる有害情報の氾濫など、青少年をめぐる問題が山積しています。このような状況を少しでも改善し、将来の大分県を担う青少年が健やかに成長していけるよう、県民総ぐるみで青少年の健全育成に取り組む必要があります。

そこで、この活動の輪をさらに広げるために、趣旨に賛同して一緒に活動に参加いただける企業や団体の皆様のご加入をお願いいたします。

参加申込書は、県民会議HPに掲載していますので、必要書類を記入のうえメール等でお申し込みください。（連絡をいただければ、郵送でもお送りします。）

詳しくは「大分県青少年育成県民会議」ホームページをご覧ください。

会費…正会員 年間3,000円 賛助会員 年間5,000円



市町村民会議の取組

国東市 (国東市青少年健全育成市民会議)

国東市青少年健全育成市民会議は、本部及び4つの支部（国見・国東・武蔵・安岐）で構成されています。活動の主体は各支部にあり、各々で青少年の健全育成に関する事業を企画し、取り組んでいます。また、本部は総括組織として各支部の取組を集約し、共有するための役割を担っています。

「啓発」と「体験」を活動の柱とし、毎年11月の「全国青少年健全育成強調月間」では、各支部において街頭啓発に取り組むなど、市民への周知・啓発に努めています。また体験活動として、毎年、市内小中学生を対象に1泊2日のスキー教室を企画・運営しています。（残念ながら今年度は新型コロナウイルスの影響により中止。）さらに、本年度マリンスポーツ施設が国見町に整備されたことから、夏には海の体験活動など、青少年の「生きる力」を育む企画に取り組んでいきたいと考えています。



街頭啓発活動



スキー体験教室

豊後高田市 (豊後高田市青少年健全育成市民会議)

豊後高田市青少年健全育成市民会議は2支部、9協議会で組織され、年間を通じて、活動を行っています。今年度はコロナ禍でも実施できるよう12月10日に「スマホマナーアップ講座」（県民会議の青少年育成事業から助成）をオンラインにて2回開催しました。市民会議会員、子どもの保護者等が参加し、はじめに豊後高田警察署から大分県内、市内での青少年が関係する事件、相談を含む事例報告があり、わが町にも起こりうる事例と認識しました。その後、七條麻衣子さん（株式会社ラック客員研究員）が「子どもたちのネット社会～被害者にも加害者にもさせないために～」をテーマに講演。この講座をきっかけに今後もネットの適正利用を意識するとともに、近年の被害事例を教訓に全国的に増加、多様化傾向にあるネット被害に遭わないよう啓発活動を行います。



警察署 佐藤さんの講話



講座の風景
モニタールーム

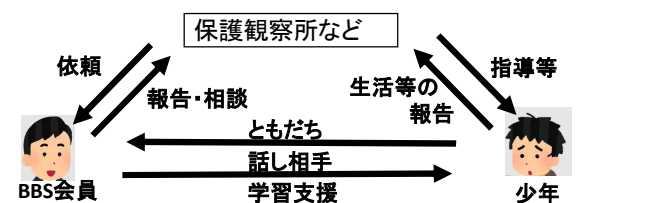
BBS会に入りませんか？

BBSとは、Big Brothers and Sisters Movementの略称で、県内の6地区計約130名（うち大学生約80名）で組織された青少年ボランティア団体です。非行少年等と同じ目線、いわば「兄」や「姉」のような立場で接することで、多くの少年たちの立ち直りを支援しています。

このような活動をしています

ともだち活動

兄や姉の目線に立って、非行少年達の話し相手、相談相手となって、少年の成長や悩みの解消を手助けしています。



非行防止活動

様々な広報活動や各種イベント、集会などを地域で実施し、犯罪や非行のない明るい社会の実現に努めています。

社会参加活動・社会貢献活動への協力

保護観察所と協力し、少年たちと共に清掃活動などの様々な活動に参加しながら、社会や誰かの役に立つ喜びを分かち合っています。



グループワーク

少年たちとグループになってスポーツやレクリエーションなどを行います。ともに何かを楽しむことにより、少年たちに一人ひとりの時とは違った共感や、心を開ききっかけを与えます。



- 入会に特別な資格は必要ありません。
- BBS会の趣旨に賛同される方であれば、どなたでも参加することができます。

【問い合わせ先】大分保護観察所企画調整課 Tel.097-532-2053

アカウント名: MOJ_HOGO 検索 保護局ツイッター

